

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
1	「兄やん、これ」と管理者に手紙を渡す。 「今日は良き1日でした」と書かれていた。
2	「挑戦したいんや」
3	「何もする事ないんもつらいなあ。あり過ぎるんもつらいけど。人間は難しいよ。」
4	「あなたの笑顔みたら、私まで元気になるよ」
5	「阪神負けたら、メシうまない」
6	「眠られへんからお父さん書いた手紙読んでん。お父さん、私の事ばかり心配しててんな…。」
7	「きれいやなあ。」「紙でこんなに綺麗に作れるんや」「私でも作れたよ。」と笑顔
8	「頭パーやけどみんな声をかけてくれる」
9	「ここだったらこんなこと(包丁で野菜を切る)させてもらえてええわ。家だったら息子が心配する。」
10	「明るくておしゃべり。クヨクヨしない性格です」「物忘れありますがクヨクヨしないようにしています」
11	「美人に会いたいなあ。まあ見るだけやけどな」
12	「おー、美味しそうやな。ごちそうや。あんたの分もあるんか？」
13	「やっぱり人としゃべらなあかん」
14	「〇〇ー」と息子さんと呼ばれたので、息子さんは今奈良に居てるらしいですよ。とお伝えすると「寂しいよ…。」と言われた。
15	「おっ！まいど！」と手を挙げてくれる
16	「今の生活が望んでいる暮らし。花を植えたり野菜を作ったり遊びに行ったり、友人も多いし束縛されない生活です。」
17	「このもどかしさはあなたに伝わらないかもしれないが私の記憶がこぼれていく感じが辛い」
18	「私もうちょっと一人暮らし頑張れるよね？」
19	「あーお父さんに会いたいな。でも暑いしめんどくさい」
20	「トイレ面倒くさいなあ。誰か変わってくれんかなあ。」
21	「絵は好きなの。でも上手じゃないの。描くことが好きなの」
22	「皆、仲良く、いつまでも健康で過ごしたい」
23	「私ら、こんな楽させてもうて。家に居てたら色々せんなん。いつもありがとう」
24	「わしら親を最後までみたけど、子どもはみてくれんところここに連れて来られた。
25	「歩いていきたいよ」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
26	「まあ、この人(利用者)の仕事ちがうかなあ。小池知事も頑張ってるしな。」
27	「何で私こんななの？何でここに居るの？」
28	「ワシ汚してないぞー。見てくれ。」
29	「俺の奥さんの名前はよしこだよ。」
30	「書くの好き」と小声でニコッと笑顔になられる
31	「いつも娘がお世話になっています」
32	「自分が、自分でわからなくなった時に(妻を)傷つけていないか？」
33	「アタマの中がもやもやしている。ワシはどうなっていくんやろう。ワシはなんなん。」
34	「お父さん死んだのかな？いつもそばにいてるような気がするよ」
35	「色々な子がいたけどあの子だけはわすれないな」
36	「あんたらはよ死にや。長生きしたらあかん、しんどいわ。」
37	「畑いくのが楽しみ。晩酌するのが楽しみ。」
38	「このちょっと待ってが長いんよ」
39	「あんたも大変やな、肩もんだろか」
40	「特には思いつかないですが家族と一緒に旅行にいきたい。昔よくいったの」
41	「わい、ワンカップこうてきてないか」
42	「家に咲いてる花を持ってきてくれてね。やさしい子なんよ。」
43	「いつもありがとうな。こんなおばあさんの世話してくれて」
44	「はっくしょん！」「あー、ごめんごめん。ビックリさせたなあ」
45	「顔見に来た。」と笑いながら言われる。
46	「さっぱり分かりません。今日何日か。」
47	「大丈夫？元気になった？」「よかったね。」
48	「あんた一緒に寝てよ。」
49	「夕飯食べたらどっか行きたいよ。」どこへ行きたいのか尋ねると「家に帰りたい」
50	「お父さんに怒られる。(デイサービス)迎えに来てくれるので行っているけど娘怒ってないかな。」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
51	「自分のことなら何でも話せるが、人のこと(妻のこと)を勝手に外で話すことはできない」(家族の声)
52	「大丈夫やで。体は元気やで。なんでもするでえ。」(ニコニコ笑顔で。)
53	「あの子か。毎日でも遊びに来たらええよ。」
54	「びっくりさせたろうと思ったんや。腹立つから、(実家に)帰ったろかなと思って。」
55	「あーアタマの中、ゴチャゴチャしてしんどい。」
56	「もうはよーお迎え来てほしい」
57	「おるな」
58	「もう一人はいややで、近所付き合いもなくなったし、この頃頭ややこしいわ」
59	「早く前みたいに元気になって、山、川を走り回りたいわ。身体を動かす事が好きだったし得意だったのよ。」
60	「みんな優しい顔。」
61	「花作るのも、友達と話すのも好き。気分落ち込むことあるけど、その時はお父さんに買い物とかしてもらう。」
62	「悪いよ、こんな家だったら怒られてたよ」
63	「不安やよ」
64	「私もの忘れあるんよ」
65	「頭わるいでなあ、はよ迎えに来て欲しいよ」
66	「わしも頑張ってきてんで」
67	「娘来る？明日？嬉しいよ、あの子ありゃこそなんよ！」
68	「何がなんやら分からんよ。認知症って怖いな。」
69	「私、昨日の晩から頭おかしい認知症になった。」「この席でええんか？」「何がなんやらわからんようになった」
70	「やさしい人でよかったよ、助かったよ」
71	「うん。あんた行きたかったら行ってきな。今日はいいわ」
72	「とてもおいしい。これ、もう1つ家に持って帰ってもいい？」
73	「がんばって起きるようにしてるんよ。でもまだ痛い。治るんかな。」
74	「ほんとは家に帰りたいけど、早く天国に連れていってくれんかな。」
75	「あなた見に来てくれたん。この足もうあかんよ。歩かないと弱ってきた」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
76	「おいしそうやな。食べてみたいな」
77	「わしの車どこに置いてるんな」「今日は仕事行かないと」
78	「別にないわぁ。お父さん(夫)ももういないし……。」
79	「あのおばさん(利用者)勝手に部屋に入ってきてかなわん。」
80	「美味しいわな。有難いな。おおきによ。」「辛ないか？辛い？辛い？美味しいか？美味しいか？」「美味しいよ」
81	「お父さん、大型の免許取ってみんな旅行連れてってくれたの」
82	「目がアカンの」
83	「家で入るんだよ。」「帰るんだよ。」
84	「どうしたらいいんや？」
85	「あの人(管理者)と会うのも最期やから……。」
86	「ほんま親切やな。優しいな。」「ありがとう」
87	「ここどんな家になってんの？」「私の家どこよ？」
88	「何もかもほんまにありがとうやで一。」
89	「冷とおーて美味しいよ」
90	「〇〇さんにもらったんです。」と嬉しそうに笑われている。
91	「寝てる時に覗かれたら嫌やから閉めとくよ。気持ち悪いから」
92	「今日はもうよってってへ行けんかな？遅いかな？」
93	「いつもと違う男の人が夜覗くのが気持ち悪い」
94	「(窓の方を指さし)向こうへ行きたい」
95	「夢見てたよ。お茶お茶って言うても飲ませてくれん夢。」と笑われる。
96	「おお！電気つけてくれたん！」
97	「老人ホームへ行かんなん。」
98	「今若先生が家に(往診に)来てくれてるんやけど、あの先生もひとつでねえ……。大先生は愛想もよくてよかったんやけど。先生変えよかなあと思ってるんよ。」
99	「私ら長い付き合いやもんなあ。私一番古いんちゃう？」
100	「私いつもこんなに持って行けへんのに。持って行かなあかんの？」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
101	「さっさとしよし」(普段利用時にはあまり意思表示をしないが)
102	「頑張ってよ」と職員声をかける
103	「そんなことないよ、今は杖をつかないと歩けんしこれから悪いところ増えてくるやろな〜」
104	「何べんもごめんよ〜(笑)」
105	「もう今日は帰るんやよ。そんなことより(調理)手伝ってあげないとあかん」
106	「本人の許可なく写真を出すことはできないので先に本人に聞いてみる」(家族の声)
107	「きーちゃんはいつ来るんな？」
108	「あれ〜懐かしい人見たことある人来てくれて嬉しいよ。」
109	「お店もそろそろ引退かなあって思う。ほいでも嫁いできて50年ずっとしてきたから寂しいわなあ。いつまでできるんかなあって思うよ。」
110	「自分もできないことがたくさんあるのに。そんなんやったら、靴下もズボンも自分一人で履いたらいい。私はもうしない。」
111	「しんどいのは僕です。痛いんです。」
112	「仕事していたんやろうな。忘れてしまったな」
113	「こっちにももう(腕)一本あるよ」腕を出して笑われる
114	「ちょっと用事があるので帰らせて頂きます」
115	「よくここにあった喫茶店にきていた。無くなってしまったんやね 」
116	「家にきてもテレビみているだけやで」
117	「は一は一、しんどいここは私が来るとこと違う」
118	「ありがとう。ありがとう。ここへ来るのが楽しみです。」
119	「玄関にちゃんと準備しておいたのにおかしいな」
120	「ここ機械にまきこまれて」
121	「これ持ってお父さんに持っかえるから包んで」
122	「私どこか悪いん？なんで検査されるんよ」
123	「昔ここまで歩いてきたんやで」
124	「私、何でこんなにどぐさいんやろ。そいのにちゃんとできてないのよ。」
125	「これはくんか？」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
126	「お姉ちゃん座らんせ 無理したらあかんで」
127	「ここ何色塗ったらいいのかなあ」
128	「もう90になったらあかんな体がいっぺんに動かん様になって何もしたない」
129	「私はええよ 練習していない」
130	「私、どこそ悪いんか？何で検査されるんな？」
131	「何か知らんけど、こんなに汚れてる。」
132	「もう家に帰らせてもらいます。」
133	「息子来てくれるけどあまり話しせんよ 可哀そうになってくるよ」
134	「楽になりたい」
135	「家にいても仕方ない。する事がない。」
136	「いい事ない。早く死にたい。家にいてる。」
137	「今はいいよ。悪くなっても近くに病院もないし不便。自分の家(岩出)は良かった。」
138	「わしもお風呂入りたい。全然入れてない。」
139	「体調はいいけど、一人になったら調子が悪くなるような気がする」
140	「背中も痛いし、何もできなく一人だからすることないので血圧をよく計ってるよとおっしゃってます。」
141	「来てくれたん、ありがとう。今日は来てくれないと思ってた。」
142	「リモコン(テレビの)のチャンネルが変わらない。自分の頭がおかしくなったんとちゃうかなと不安になった。朝ご飯の事もあり、二つもいつもと違う事が起こったので、かなり心配になって、〇〇さんに電話したんよ。」
143	「いってらっしゃいませ」
144	「毎日規則正しい生活はしている。散歩、草むしり、花の水やり。着替えてゆっくり朝食。後はクーラーの部屋で夕方までのんびりする」
145	「私、お昼ご飯食べたのかしら？」
146	「ありがとうね。うれしいわ。あなたも冷たい飲み物を飲んで下さい。ありがとうございます。感謝しています。」
147	「おおきによ。助かるよ。こんなにさせていただいて、ありがたいです。温かいし美味しいよ。」
148	「介護の仕事は、本当に大変なお仕事よね。ヘルパーさん達がいてくれるから、本当に助かるし感謝してます。」
149	「最近何かわからなくなるよ。私もだいがボケてきたんかなあ」
150	「私の人生辛かった」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
151	「何しに来やるんな。はよ帰れ。」
152	「私、どうなってるんか、怖い。何が何やら分からん。」
153	「お隣の奥さんがうらやましいよ。ゆっくり寝たい。」
154	「〇〇さん」(と、Nさん-の名前を読んで下さる。前はお母さんと呼ばれていた)
155	「よかったわ、ようみえるわ」
156	「帰りたい」
157	「もうたってきたわ」
158	「どこも悪くないのに、いつ帰れるんよ。お父さんが残してくれた家と、車が心配。」
159	「帰ったら、またあの子らの世話にならんなんのよ。」
160	「掃除、洗濯はしてる。きっちりでできないようになってきてる」「運転免許は必要。失いたくない」
161	「幻聴は続いてる。前みたいに人が降ってきたりはしない。虫が見える程度」
162	「食べるのが楽しみ。」
163	「お父さんと助け合ってるよ。」
164	「運転に不安あります。几帳面にして決められたところに停めるようにしています。」
165	「暑い、クーラー付けて」数分後「寒い、クーラー切って」と繰り返される
166	「行かんよ！」と拒否されるが、直後に「誰か連れってくれるんだったら…」と話される
167	「Nさんに持って帰ってあげよ」
168	「私切ったろか？」
169	「菊水堂へ連れって」
170	「パパ～」と叫んでいる
171	「ここは御坊？」
172	「もう菊水堂へ行こうかな」
173	「もう、また行かんなんのか」
174	「急がんなんのよ」
175	「この人、Mさんか」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
176	「ここに一緒に来てた人、どこ行ったんな」
177	「家に帰る準備してんね」
178	「やっぱり戻れんな、なんとかならんか」
179	「かまんよ、持っていくよ」
180	「手伝おうか」
181	「事務所へ化粧品会買いに行くんよ」
182	「もう食べたよ」
183	「ええよ」
184	「待って」
185	「病院の家でしょ」
186	「あの人は字が達筆ね」
187	「(笑顔で)ありがとう」
188	「男の人はしていないんですよ」
189	「かまんよ」
190	「ここでええよ」
191	「かけてくれるかい」
192	「ここは尾道？」
193	「待って」
194	「声かけてくれたん？忘れてたよ」
195	「おはようございます。みなさんどこですか」
196	「さむいわ」と繰り返している
197	「私そろそろ行かなあかんのよ」
198	「電話したいんやけど、どうやって使うんな」
199	「ここへ行ったらええんか」
200	「車持ってこアカンのよ」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
201	「こんなところ、戻って来たくなかった」
202	「一人だったらどうしてええかわからなかった、ここにいて良かった」
203	「ねえちゃん(職員)らいてるさか安心やよ」
204	「連れて来てくれてありがと」
205	「ここに來れてよかったよ、最初はどうなることかと思った」
206	「しんどいよ、違うんよ、さみしいよ」
207	「ここでいてたらええんか」
208	「頼んどかよ、いつもすまんよ」
209	「今、夜よね」
210	「だれか死ぬんか、死ぬて聞いた」
211	「助かりました」
212	「皆さんにいつもちゃんとしてもらってすいません」
213	「お風呂に入れてもらってうれしい」
214	「いつもありがとございます」
215	「性分やから焼かな治らんよ(亡くなった夫の事)」
216	「猫無いんか？相棒死んだからなあ。」
217	「私、なんにもわからんのよ」
218	「〇〇にこんなこと言われたんよ」
219	「・・・」(話しかけても無言)
220	「何しにきたんよ」
221	「デイサービスにはもう行きたくないんよ」
222	「そうやったか、私知らんよ」
223	「あいつに彼女できたんよ、家にかえらんと、夜も寝れやん」
224	「あら、あなた誰、トランプの順番間違ってるわ」
225	「あなたと話していると楽しいわ」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
226	「君だれだったかな…」
227	「ええもん見せてもらったよ。」
228	「あなたたちがいるので、緊張して立ち上がり方がわからない」
229	「外に出たら寒いさかな」
230	「それ私が買ってきたやつや」
231	「マスクをしなさい」
232	「ちょっとその棒私の〇〇に入れてよ」
233	「風呂入ってきたよ」
234	「(トイレに入った時)もう私出来るから出て行ってよ。おおきに。行ってよ。」
235	「ご飯食べに行くん？ 何も持って行かんでもええん？お金は？」
236	「おおきによ。すまんな～、連れていってくれるん？」
237	「今日、私頭ぐちゃぐちゃであかな～。訳分からんのよ。」
238	「もっかまんで～濡れててもかまんよ、あんた体壊すで。」
239	「アンタ誰な？初めてか？」
240	「入らんよ。寒いよ。調子悪い。」
241	「本間やな、弟来てくれたな。息子はいてない。弟やよ。」
242	「一緒に寝てくれるかい？」
243	「すいません。ごめんなさい。」
244	「あんたみたいな娘、家へ連れて帰りたいよ！家では1人で夜泣いてるんやで！！」
245	「痛い思いばかりせなあかん！抜歯怖い！変わってよ！」
246	「あれ！こんにちは！うふふ！」
247	「おかいさん炊かなあかん！！米どこな？」
248	「ここの施設あって良いんやよ！家で居ても犬としか話し相手おらんのよ！デイの方が楽しいよ。」
249	「わし、もう、どうしていいんかわからんのよ！！」
250	「おーい。おーい。」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
251	「座敷で横になりたい。」
252	「寂しい、一人だと思った。」
253	「お金がない。盗まれたけど黙ってて。」
254	「私、2階へ上がらなあかん。」
255	「なんな、座ってるな誰か」
256	「お世話ばかりかけてごめんやで。」
257	「明日サロンの日か？」と尋ねて下さる
258	「ここはみんな優しいしね、ええとこやで。」
259	「まだ残っているのに持っていかれた。」他の利用者に「私にそんなおかずなかった、あんたそれ誰にもろたん」
260	「知らん人勝手に部屋にはいつてきた気持ち悪い。」「鍵かけてあるのにその人鍵持ってるんか？ここ私の部屋黙って入ってきたら今度警察呼ぶ」
261	「あんた帰るん、私も連れて帰って」「長いこと帰ってないので息子心配している」
262	「わい家で入るよ。いつでも家に入るからね。」
263	「今誰か来たよ。そこにいてる。」
264	「〇〇(孫さん)いつもすまんよ〜。」
265	「それ私が買ってきたやつ。とらんといてよ。」
266	「〇〇(娘さん)持ってきたパンある？まだ食べてない」
267	「今日いい人ばかりでお風呂も気持ちよかったよ。」
268	「もうすぐ年超すなあ」
269	「待ってたよ〜。荷物も準備してるし行きましょう。」
270	「私(食器)置いてたのに何も言わんと持っていかれた。私に何か恨みでもあるんか？」
271	「何がどうなってんのか分からん。これでええんか？」
272	「あれ乗ってこか。また送ってもらわんなん」
273	「私縫おか、すらよ。」
274	「(少し怒り気味で)風邪ひいているのでけっこうです」
275	「暑くないよ。クーラーの風ムリムリ」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
276	「最近、忘れっぽくなっちゃったわ。この先不安よ。」
277	「ようせんから手伝って」(がんばってみてと声をかけたら)「そんなん無理！！もうしんどい。死んだほうがマシや」
278	「大丈夫ですよ。職員さんに迷惑かけっぱなしで申し訳ないよ」
279	「なにか音はしているけど(扇風機と認識できていない)」
280	「曜日がわからない」
281	「何回も何回も交換してもらって申しわけない」
282	「ねえちゃん。車、運転してえらいな」
283	「ねえちゃん、帰らせてくれよ。家に帰りたいわ」
284	「まだか？まだ迎えに来てくれやんのか」
285	「体調どうですか」
286	「今日も体調よくないよ。晴れやのに」
287	「お腹の調子が悪いんよ。こんなこと(便失禁)は初めてや」
288	「なんでやろ」
289	「おなかすいた。そうめん食べたいよ」
290	「車こっちに持ってきてよ。そっち行かなアカン」
291	「こんな所で寝れんよ。誰か来てよ、淋しいよ」
292	「おおきによ。助かりました」
293	「秋頃になったら熱下がるのか？」
294	「お世話様。ありがとう」
295	「ありがとう。おやすみ」
296	「ここどこな？」「いつ帰るんな？」
297	「ごめんやで」
298	「ごはん、おつゆ、肉、野菜か？」「私、Sか？おトイレか？」
299	「あっちへ行くんよ。帰るんやよ」
300	「別に悪くない。しっかり眠れた」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
301	「お風呂が好き。気持ちよかった。みんなやさしかった。」
302	「すいません。今日は名田町まで送ってほしいんですけど」
303	「昔、聞いたことあるわ。ええ歌やな」
304	「かわいそうに。汗かいてる」
305	「皆さんにあやまりたいです」
306	「トイレに行きたいよ」
307	「御坊に行きたいよ」
308	「お金を貸してほしい」
309	「今から夜ごはんを食べに行こうと思って起きたんよ」
310	「帰りたい。タクシー呼んで」
311	「葬式を2回しなくてはならんのよ」
312	「これ毒が入っています」「味が違います」などと言い拒否される
313	「ここはヤクザが経営しています」「～さんここへ来てよ」
314	「匂いが違います」など言われ食事を拒否
315	「陛下来てください」「そこの警察の方来て」
316	「～さん来てください」「毒が入っています」など
317	「今日の夜勤だれな？」と聞かれる。〇〇さんです、という「わかったありがとう」
318	「私、殺されてしまいます。」と怖がっている様子。
319	「勉強はきらい！でも本は好きよ。あなた、こまかい字書いてえらいね。」
320	「今日は朝から2回も便が出てね。ここは野菜が多いから嬉しいわ。」
321	「私、今から帰ります。御坊で降ろして下さい。藤田町吉田です。」
322	「みんな先に帰ってしまった。私も帰ります。」
323	「何もできなくなってきた。早くお迎えきてほしい。」
324	「私は何もできないから世話になってごめん」
325	「〇〇(息子の名前)来てないか？もう帰ったんか？」

令和7年7月に集まった「本人の声」

No	本人の声
326	「息子らみんな大学にやった。みんな成功した。」
327	「うるさい。あっちへいけ。」
328	「大丈夫よ、一人でやるよ。」
329	「ブレーキかけて！」
330	「娘に電話して、オカキ持ってきてもらって、娘に電話していものカリントウ持ってきて。」
331	「何をぬかしとるんじゃ！」
332	「おたのみ申し上げます。おいのり申し上げます。」